



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

株式会社
メディカルシステムネットワーク

2025年3月期 第2四半期（中間期）

業績説明資料

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：4350

記載内容に関して

- ※ 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- ※ また、本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。

本資料につきましては、当社公式ウェブサイト (<https://www.msnw.co.jp>) よりご覧いただけます。



売上高

	前年同期比（増減）	進捗率
59,761 百万円	+5.8% （+3,300百万円）	49.0%

営業利益

	前年同期比（増減）	進捗率
1,027 百万円	▲40.0% （▲684百万円）	25.7% [※]

※ 2024年5月10日公表の修正前通期業績予想に対する進捗率

売上高は前年同期比プラス、計画に対して順調に進捗

- 前期地域薬局の新規出店及びM&Aの業績寄与
 - 全店処方箋枚数 対前年同期 +3.6%
- 医薬品ネットワーク加盟件数は順調に推移し1万件を突破

営業利益は処方箋枚数の伸び悩み・仕入れ価格の上昇・賃上げ・物流事業立ち上げに係る準備経費等で減益

- 前期複数の呼吸器感染症が流行した反動
 - 既存店処方箋枚数 計画対比 ▲2.7%
 - 既存店処方箋単価 計画対比 +3.2%

<地域薬局ネットワーク事業>

地域薬局部門

- 地域薬局店舗数 **452** 店舗（+2店舗）
- 処方箋単価（全店） **10,228** 円（+195円）[※]
- 処方箋枚数（全店） **4,947** 千枚（+3.6%）[※]
- 処方箋枚数（既存店） **4,617** 千枚（▲0.8%）[※]

～薬局支援事業～

医薬品ネットワーク部門

- 加盟件数 **10,435** 件（+679件）

医薬品製造販売部門

- 成分数 **49** 成分 カウント方法変更により
前期比較なし
- 品目数 **113** 品目（+10品目）
- 取扱店舗数 **5,700** 店舗（+1,806店舗）[※]

デジタルシフト部門

- 友だち登録数 **125** 万人（+20万人）
- 導入店舗数 **5,576** 店舗（+894店舗）

<賃貸・設備関連事業>

ウィステリア

- 全5棟入居率 **83.7** %（+0.7%）

（注）カッコ内は前期末比 / ※は前年同期比

業績ハイライト	．．．	5
重点施策・事業概況	．．．	12
2025年3月期 業績予想・中間配当	．．．	27



1

業績
ハイライト

2025年3月期 中間期 – 連結業績

(単位：百万円)	2024/3期 中間期 (実績)	2025/3期 中間期 (計画)	2025/3期 中間期 (実績)	前年同期比		計画比 ^{※2}	
				増減額	増減率	差額	達成率
売上高	56,461	59,500	59,761	+ 3,300	+ 5.8%	+ 261	100.4%
EBITDA ^{※1} 利益率	3,247 5.8%	3,260 5.5%	2,697 4.5%	▲ 549	▲ 16.9%	▲ 562	82.8%
営業利益 利益率	1,712 3.0%	1,600 2.7%	1,027 1.7%	▲ 684	▲ 40.0%	▲ 572	64.2%
経常利益 利益率	1,692 3.0%	1,590 2.7%	1,020 1.7%	▲ 672	▲ 39.7%	▲ 569	64.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益 利益率	861 1.5%	785 1.3%	207 0.3%	▲ 654	▲ 76.0%	▲ 577	26.4%
1株当たり 中間純利益 (円)	28.54	26.86	7.08	▲ 21.46	—	▲ 19.78	—

※1 「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

※2 2024年5月10日公表の修正前中間期業績予想に対する達成率

2025年3月期 中間期 –セグメント別業績

■ 売上高

(単位：百万円)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減額	増減率
売上高	56,461	59,761	+ 3,300	+ 5.8 %
地域薬局ネットワーク事業 ※	53,765	57,074	+ 3,308	+ 6.2%
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	3,032	3,081	+ 49	+ 1.6%
調整額	▲ 336	▲ 394	▲ 57	—

■ 営業利益

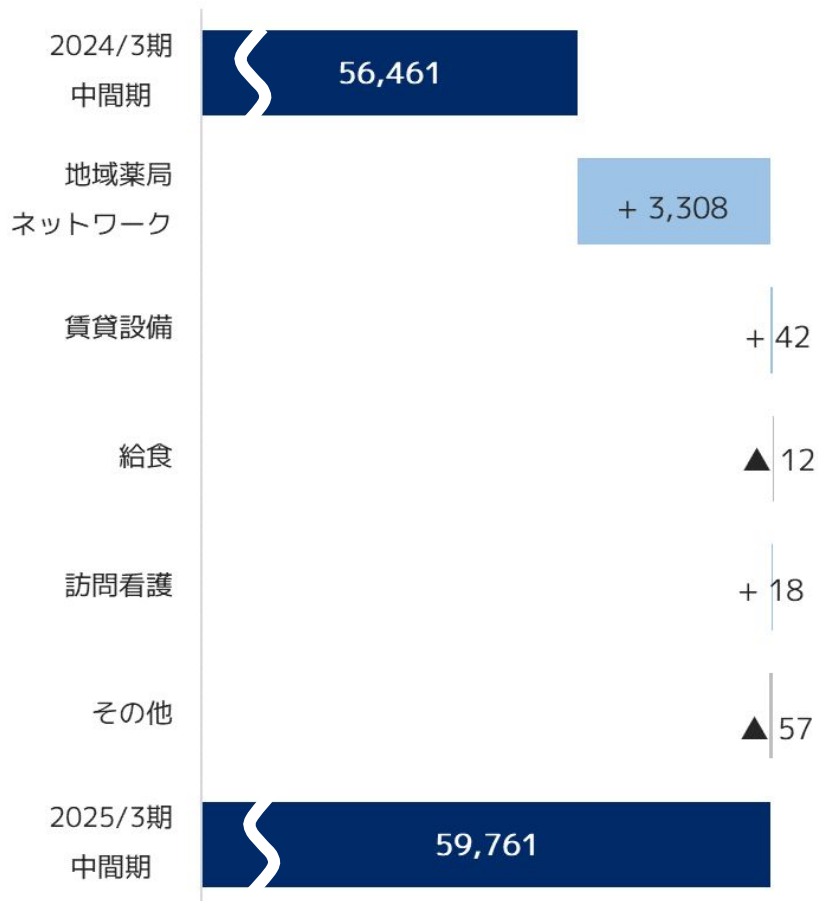
(単位：百万円)
カッコ内は利益率

セグメント利益	1,712 (3.0%)	1,027 (1.7%)	▲ 684 ▲1.3pt	▲ 40.0%
地域薬局ネットワーク事業 ※	2,947 (5.5%)	2,241 (3.9%)	▲ 706 ▲1.6pt	▲ 24.0%
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	26 (0.9%)	79 (2.6%)	+ 53 +1.7pt	+ 203.6%
調整額	▲ 1,261 (-)	▲ 1,293 (-)	▲ 32	—

※ 地域薬局部門、薬局支援事業（医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、医薬品物流部門、デジタルシフト部門）

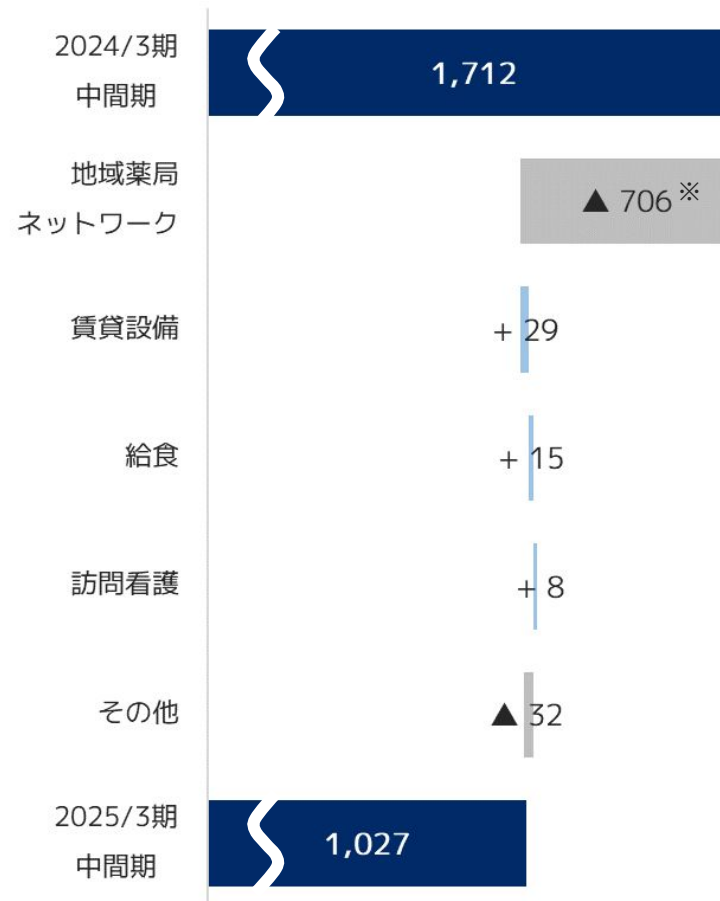
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)



※ 既存店：前期比 処方箋枚数 ▲0.8%、単価+2.3%
 当期開局店舗：▲291百万円
 上記のほか、仕入れ価格の上昇、賃上げの影響等

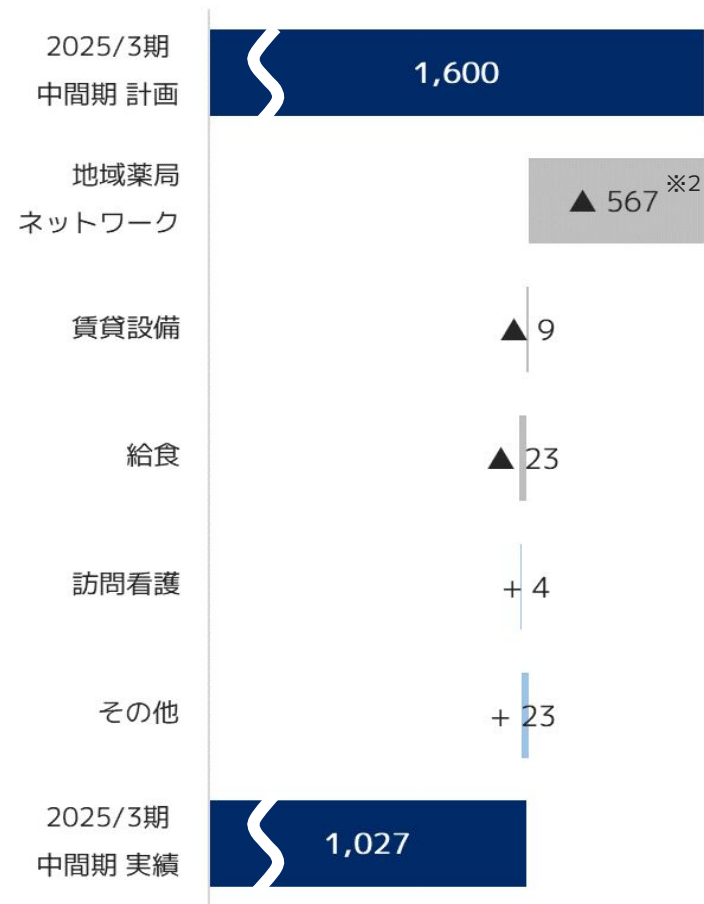
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)



※1 2024年5月10日公表の修正前中間期業績予想との比較

※2 既存店：計画比 処方箋枚数 ▲2.7%、単価+3.2%
上記のほか、仕入れ価格上昇の影響等

2025年3月期 中間期 – 連結貸借対照表

■ 2024年3月期末

(単位：百万円)

資産 計	68,149	負債 計	52,930
流動資産	20,773	流動負債	23,213
現預金	8,273	短期借入金 ^{※1}	5,710
		固定負債	29,716
固定資産	47,376	長期借入金	18,309
有形固定資産	28,336	純資産 計	15,219
無形固定資産	11,281	資本金	2,128
のれん	10,613	資本剰余金	937
投資その他の資産	7,759	利益剰余金	13,100
		自己株式	▲ 882
資産合計	68,149	負債・純資産合計	68,149
自己資本比率			22.3%

(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

25.3%)

※1 1年以内返済予定の長期借入金を含む

※2 自己資本/(総資産-現預金)で算出

■ 2025年3月期 中間期末

(単位：百万円)

資産 計	69,976	負債 計	54,708
流動資産	22,173	流動負債	28,048
現預金	8,689	短期借入金 ^{※1}	9,906
		固定負債	26,659
固定資産	47,803	長期借入金	15,188
有形固定資産	28,987	純資産 計	15,268
無形固定資産	10,726	資本金	2,128
のれん	9,944	資本剰余金	946
投資その他の資産	8,090	利益剰余金	13,124
		自己株式	▲ 891
資産合計	69,976	負債・純資産合計	69,976
自己資本比率			21.7%

(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

24.8%)

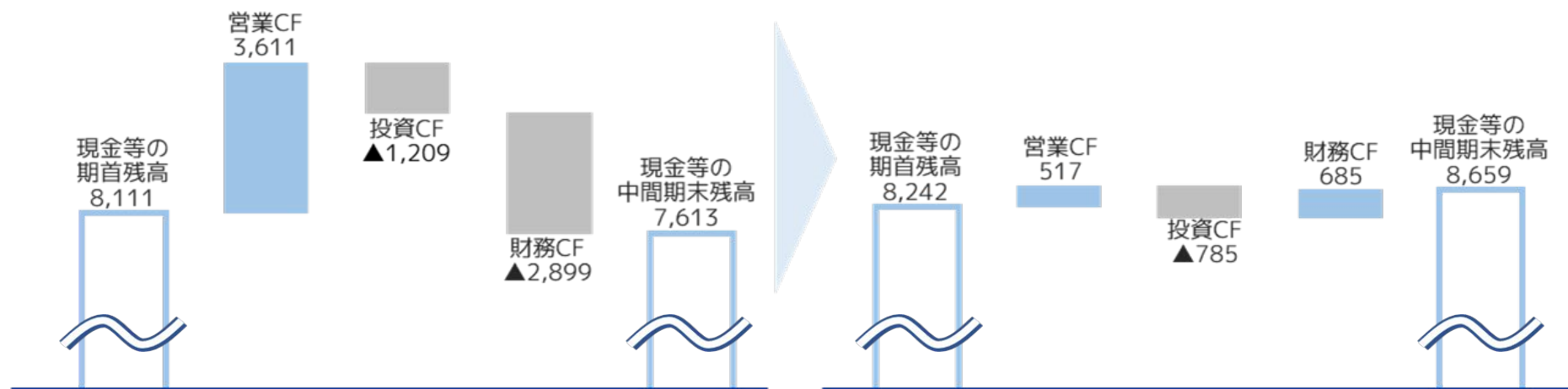
営業活動による キャッシュ・フロー	517 百万円	EBITDA※1 法人税等の支払額 運転資本等の増減による影響額	2,697 百万円 ▲ 1,014 百万円 ▲ 1,125 百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲785 百万円	新規出店・M&A（株式取得） 既存店改修費用等 事業譲渡による収入※2	▲ 1,551 百万円 ▲ 466 百万円 1,547 百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	685 百万円	借入金の増加額 リース債務の返済 配当金の支払い	1,074 百万円 ▲ 212 百万円 ▲ 177 百万円

※1 「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

※2 ウィステリア千里中央、薬局5店舗の譲渡

■2024年3月期 中間期

■2025年3月期 中間期





2

重点施策
・
事業概況

今期重点施策・数値目標	
地域薬局 ネットワーク 事業	地域薬局 <ul style="list-style-type: none"> ■ 医療マインドの醸成と質の高い薬物治療の提供 ■ 医療DXへの着実な対応 … 既存店枚数 前期比 +1.8% ■ 医療モールを中心とした店舗開発（20店舗） ■ 適切なコストコントロールによる生産性の向上
	～ 薬局支援3事業～
	医薬品ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ■ 期末目標加盟件数 10,756件（+1,000件） ■ 流通改善の推進 … 当社直営薬局 平日1日1回納品・土曜納品なし、急配減 ■ 基幹システムの改修・刷新 ■ サービスの拡充 … 加盟店の枠を超えたエリアネットワークの構築
	医薬品製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ■ 安定供給 ■ 取引店舗の拡大 … ネットワーク加盟店を含む取引店舗数 7,000店（+2,002店）
	デジタルシフト <ul style="list-style-type: none"> ■ LINE公式アカウント導入店舗の拡大 … 導入店舗数 5,700店（+1,018店）、友だち登録 140万人（+35万人） ■ 機能強化の継続
賃貸・設備関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウィステリアの入居率 87.8%達成・安定稼働 ■ 適切なコストコントロール … 効果的な広告宣伝の実施
給食事業・訪問看護事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物価上昇への対策と収支ラインの引き上げ
投資・財務戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規事業として医薬品物流会社メディロジネットを立ち上げ ■ コストコントロールによる利益確保・資本積上げ

モール型中心の出店により、薬局店舗出店件数は過去最高の22件となる見込み

	2025/3期（9月30日時点）	
	見込数（うち実績）	通期計画
薬局店舗出店件数	22件 （11件）	20件
医療機関誘致件数	11件 （2件）	10件

【モール型】なの花薬局 大宮駅前店



- 皮膚科
- 眼科
- 内科

九州・沖縄

71 店舗

【モール型】なの花薬局 豊中えびす店



- 人工透析内科
- 内科
- 乳腺外科

中国・四国

22 店舗

東海・北陸

44 店舗

近畿

55 店舗

東北

31 店舗

関東・甲信越

106 店舗

北海道

123 店舗

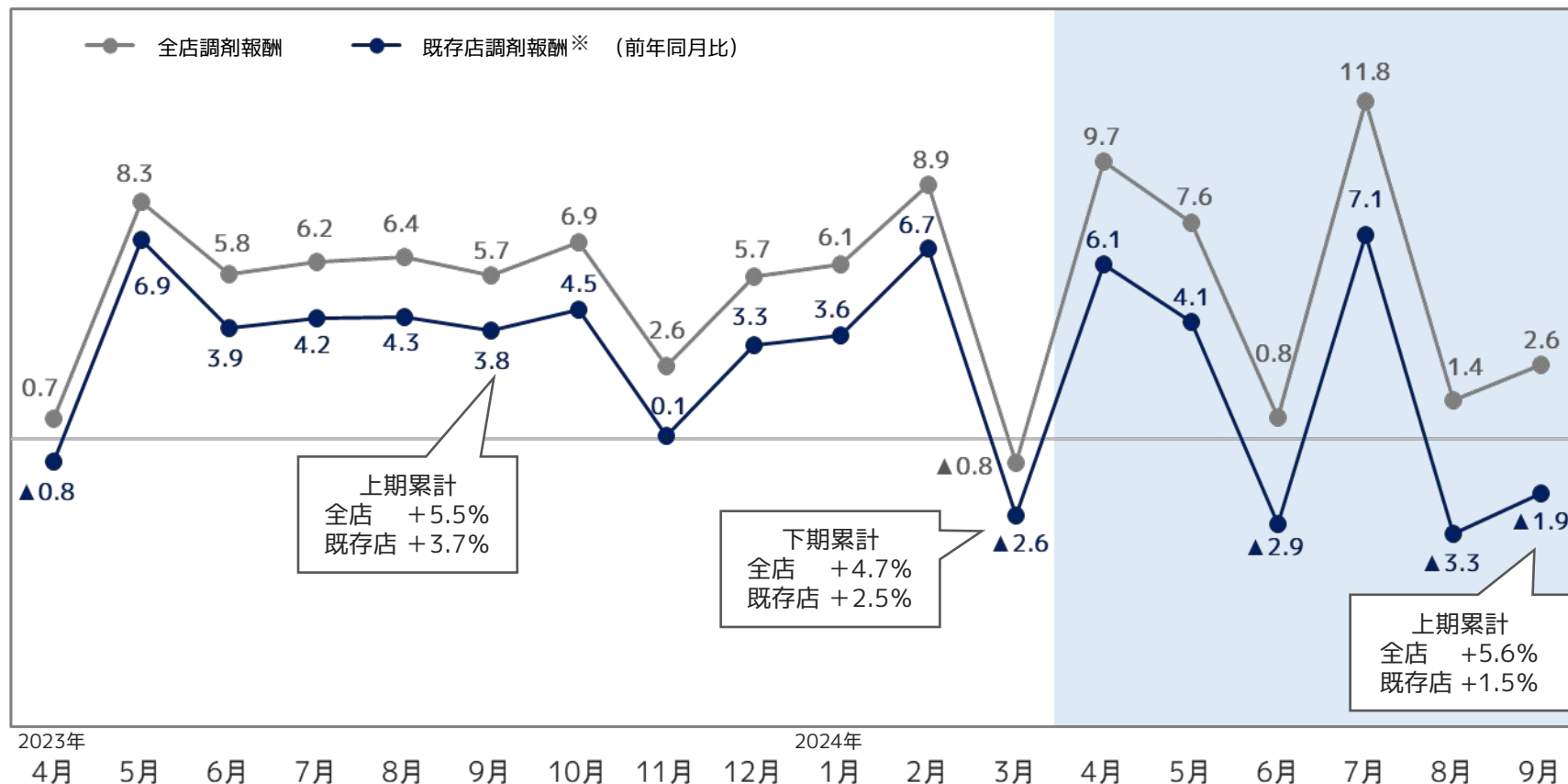
【モール型】なの花薬局 新越谷駅前店



- 心療内科
- 整形外科
- 眼科（予定）
- 内科／小児科（予定）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期 中間期
出店	8	13	11
閉店・事業譲渡	▲7	▲9	▲10
M&A	2	18	1
店舗数	428	450	452

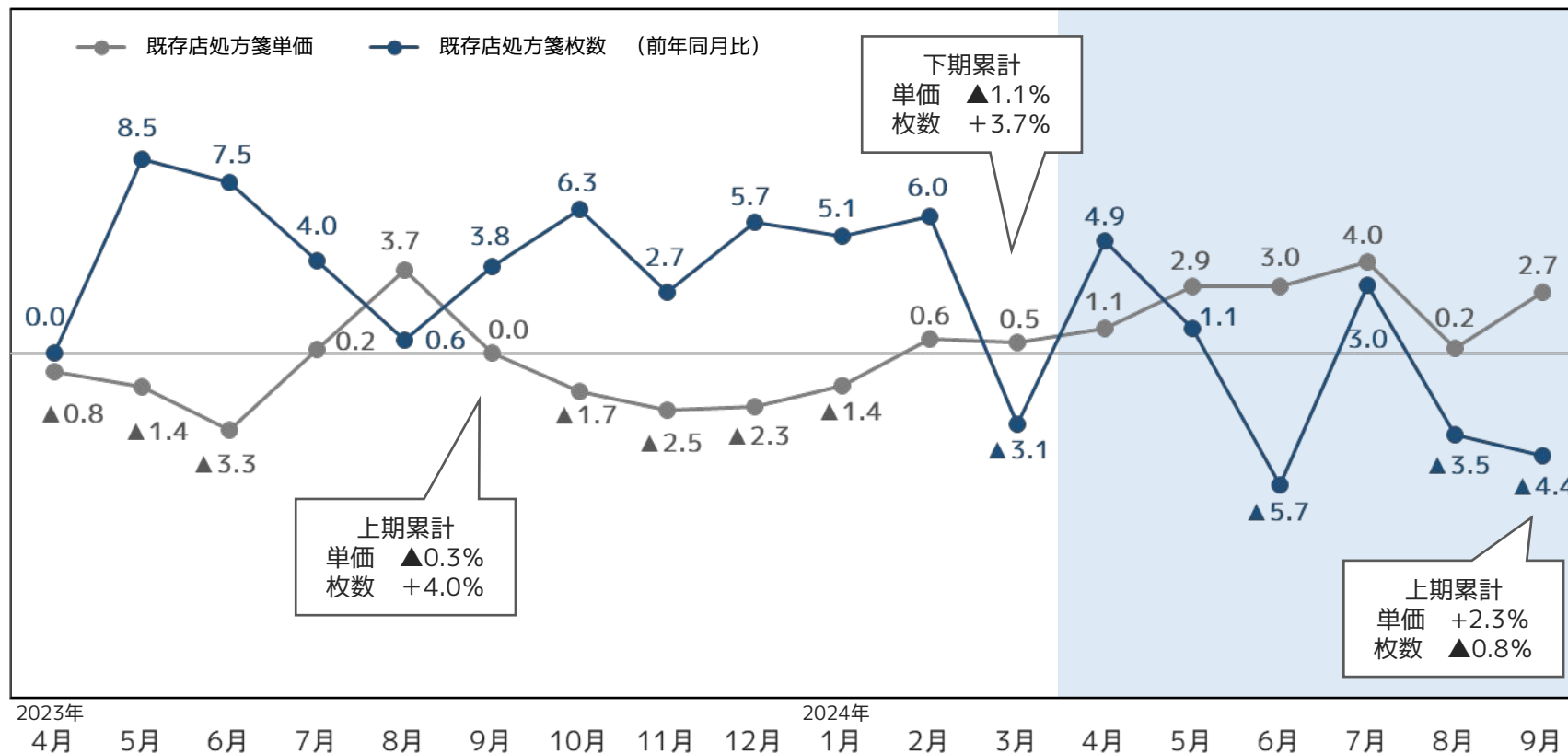
地域薬局部門 一月次調剤報酬の前年同月比較



※ 既存店：前期は2022年4月1日以降、当期は2023年4月1日以降継続して開局している店舗が対象

地域薬局部門 – 既存店における処方箋単価・枚数の前年同月比較

前期に複数の呼吸器感染症が流行した反動により処方箋応需枚数は減少するも、
薬剤料単価の上昇により処方箋単価は上昇



■ 全店		2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
処方箋枚数 (千枚)		4,777	4,947	+ 169	+ 3.6%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,687	7,828	+ 140	+ 1.8%
	技術料 / 枚	2,346	2,400	+ 54	+ 2.3%
	計	10,033	10,228	+ 195	+ 1.9%
調剤報酬 (百万円)		47,935	50,600	+ 2,664	+ 5.6%

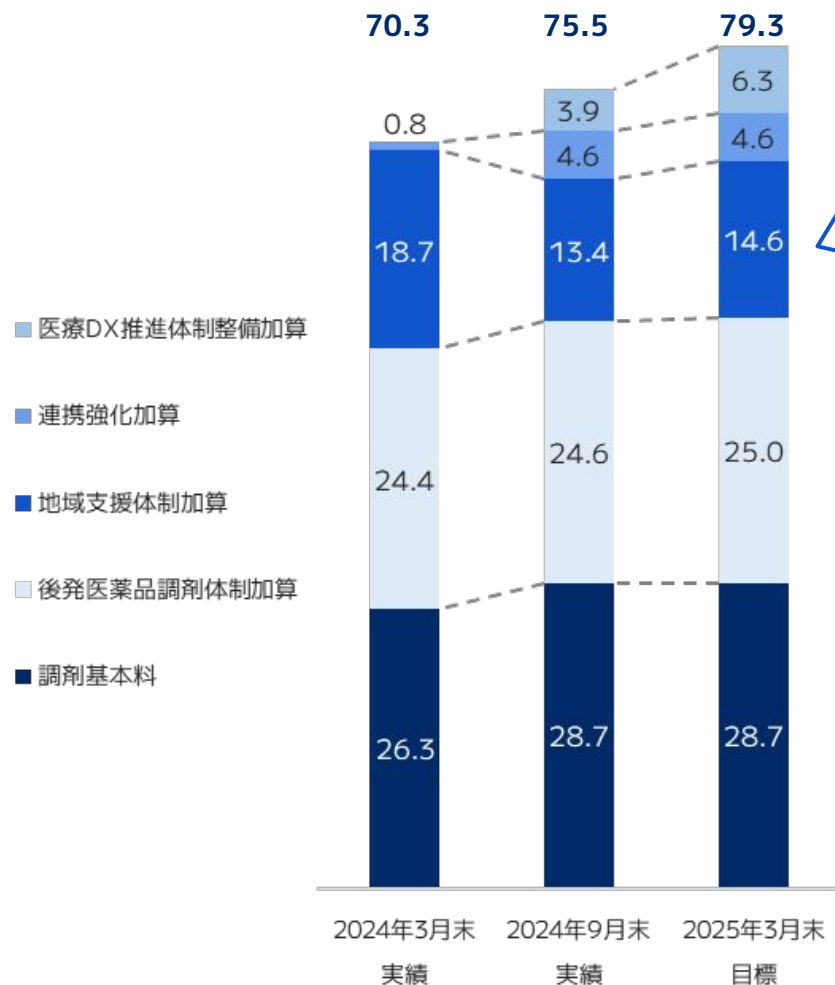
■ 既存店

処方箋枚数 (千枚)		4,655	4,617	▲ 38	▲ 0.8%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,767	7,934	+ 167	+ 2.1%
	技術料 / 枚	2,353	2,419	+ 66	+ 2.8%
	計	10,120	10,353	+ 233	+ 2.3%
調剤報酬 (百万円)		47,116	47,805	+ 688	+ 1.5%

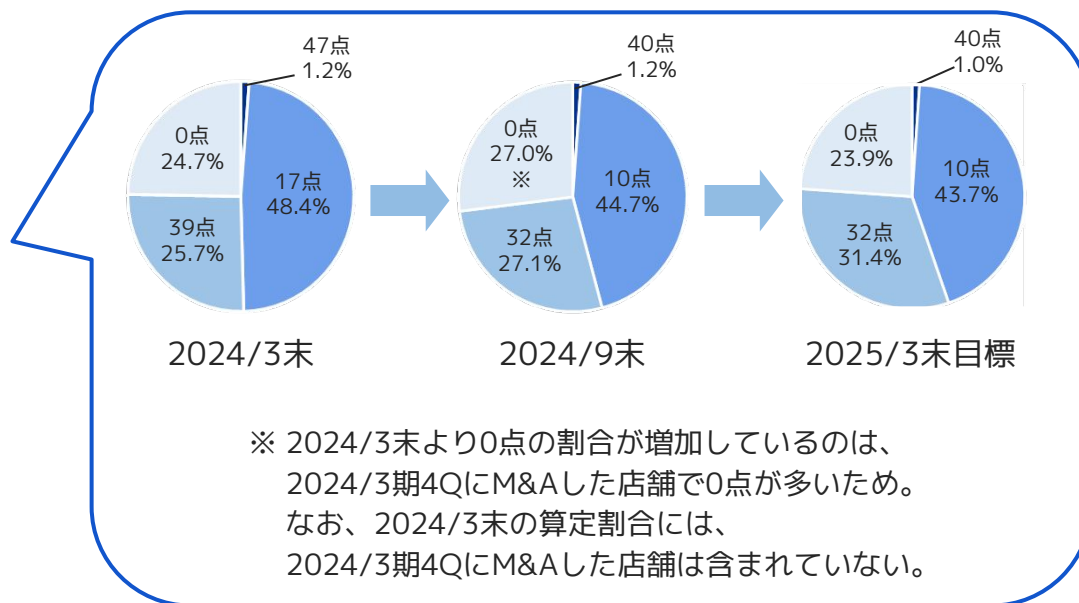
※ 調剤報酬：処方箋枚数×処方箋単価にて計算

令和6年度調剤報酬改定で地域支援体制加算の点数は下がったものの
対人業務の強化と医療DX加算の取得により加重平均点数は前期を上回り算定

■ 加重平均点数（点）



■ 地域支援体制加算 算定割合



■ 令和6年度調剤報酬改定の主な内容

- 調剤基本料：一律 +3点 ↗
- 地域支援体制加算：一律 ▲7点 ↘
- 連携強化加算：2点 ⇒ 5点 (+3点) ↗
- 医療DX推進体制整備加算：新設 (4点~7点) ↗

(株)NTTドコモ（以下ドコモ）とかかりつけ薬局の推進を目的に服薬フォローの実証事業を実施

- ドコモが提供するヘルスケア推定AI^{※1}を活用し、患者さまの外出状況等の生活情報から健康に関わるリスクを把握
- 生活習慣や日常生活の変化に即した服薬フォローにより患者さまへ受診勧奨、疾患の早期発見と重症化予防へ
- 薬剤師がより身近なものとなり、かかりつけ薬剤師への同意による加算取得へも寄与

1 スマホアプリを使って
患者さまの生活情報を収集^{※2}



2 ドコモが提供するヘルスケア
推定AIを通してリスクを推定

ドコモが提供する
ヘルスケア推定AI

- ・リスク推定結果
- ・根拠となる生活傾向

なの花薬局

3 メッセージアプリやお電話、
対面で服薬フォローを実施

生活習慣と服薬情報をあわせて
患者さまへ服薬フォローを実施



なの花薬局17店舗にて実証を開始

※1 スマホから取得した生活情報をユーザーの同意に基づき活用することで、様々な健康リスクを推定・予測する機能

※2 本実証における服薬フォローは「つながる薬局」をご利用中の患者さまが対象（実証期間：2024年6月21日～2024年10月31日）

■ 医療の質向上や業務改善を目的に社内学術大会「なの花フォーラム2024」を開催

- 第5回 大会テーマ「changeからchallengeへ～真の地域貢献への挑戦～」
- 計971名の社員が参加し、口頭17演題・ポスター46演題を発表
- 学会・学術発表につなげる第一歩に



なの花フォーラムの様子

第12回 日本くすりと糖尿病学会学術集会

優秀演題賞

保険薬局薬剤師における「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」の患者への適用経験と関連因子の探索：横断研究
なの花薬局 新倉敷駅前店 に在籍の薬剤師（株式会社なの花西日本）

第83回 九州山口薬学大会

大会賞

高齢者における語音聴取の程度とポリファーマシーの関連について
永富調剤薬局 はさま店 に在籍の薬剤師（株式会社永富調剤薬局）

最重点課題である薬学ケアの質向上により、選ばれる薬局へ

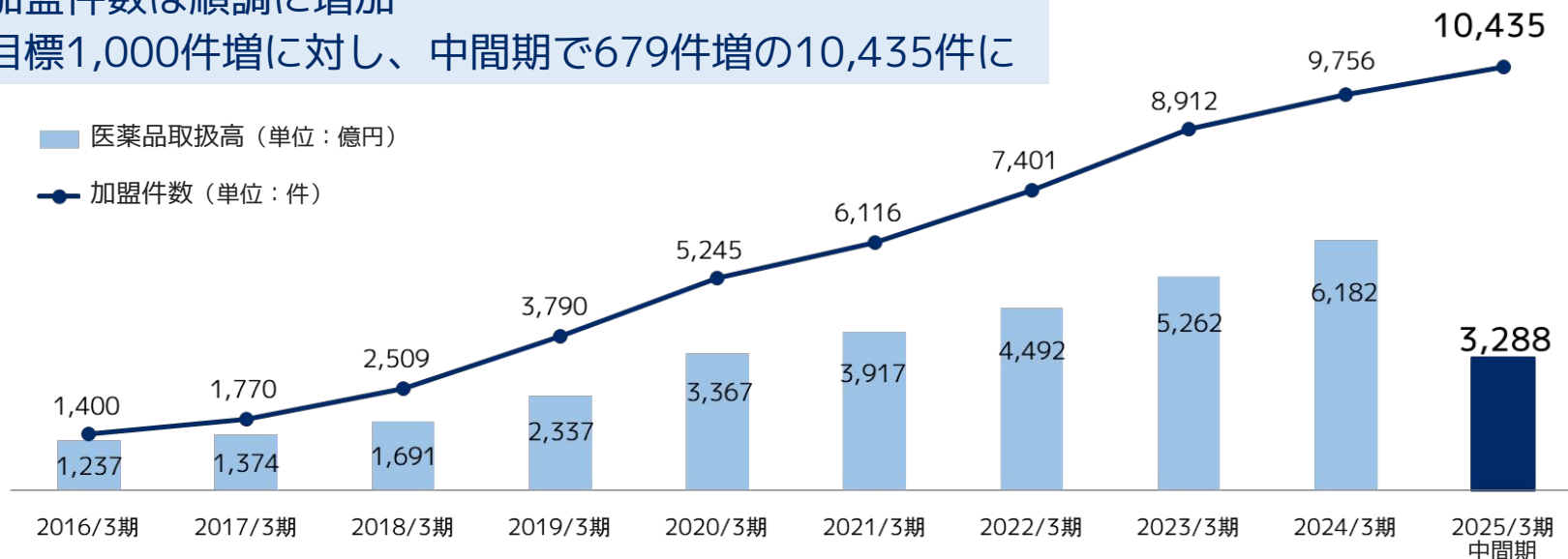
医薬品ネットワークを中核に医薬品製造販売、医薬品物流、デジタルシフトで地域薬局を支援

■ 2025/3期 数値目標に対する進捗

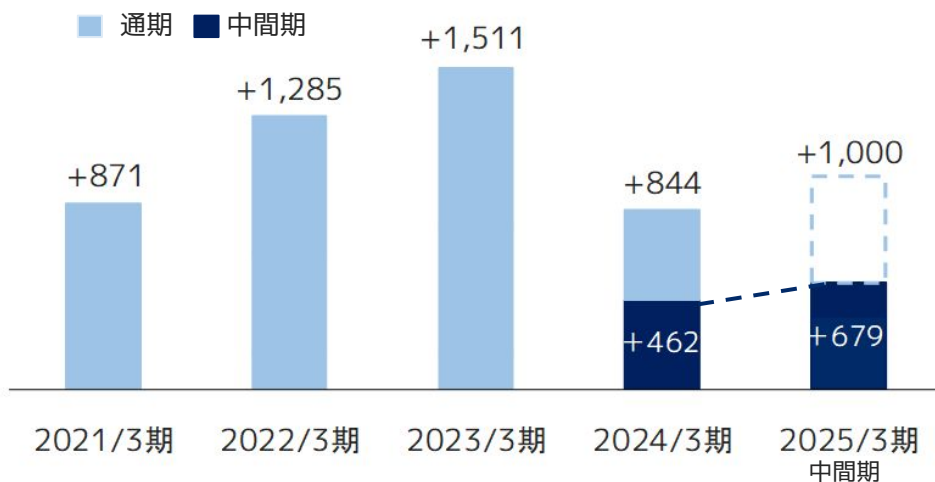
	2025/3期 数値目標	進捗 (9月30日時点)
医薬品ネットワーク	加盟件数 10,756件 (+1,000件)	10,435件 +679件 (前期末比) 10,538件 (10月31日時点)
医薬品製造販売	取引店舗数 7,000店 (+2,002店)	5,700店 (毎年4月以降に取引のあった店舗数) +1,806店 (前年同期比)
デジタルシフト	導入店舗数 5,700店 (+1,018店) 友だち登録 140万人 (+35万人)	5,576店 +894店 (前期末比) 125万人 +20万人 (前期末比)

※ 薬局支援事業：医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、医薬品物流部門、デジタルシフト部門

新規加盟件数は順調に増加
通期目標1,000件増に対し、中間期で679件増の10,435件に



■ 加盟件数 (純増数推移) (単位: 件)



■ 2025/3期 加盟件数内訳 (新規・脱退) (単位: 件)

	第1四半期	第2四半期
新規	522	414
脱退	▲100	▲157

一部大口の脱退はあるものの
新規加盟件数は順調に増加

(参考) 2024/3期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
新規	342	307	357	369	1,375
脱退	▲82	▲105	▲228	▲116	▲531

各地域の薬剤師会業務を支援し、目指すべき方向を共有して、エリアネットワーク構築を推進

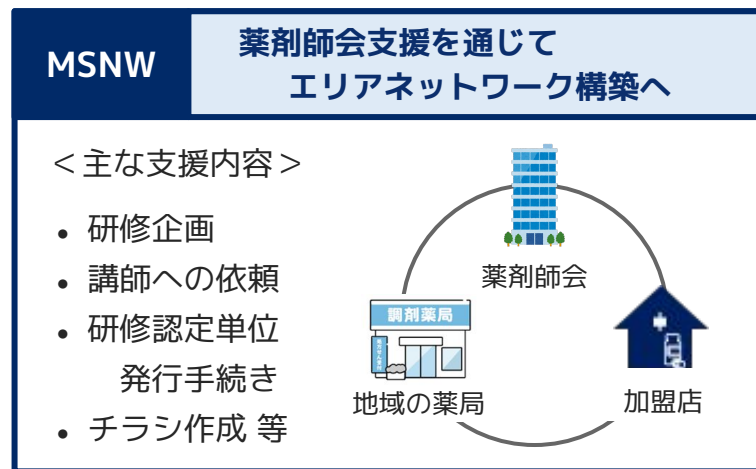
■ 研修支援サービス

地域薬剤師会 研修担当者

- ・ 研修会運営が負担
- ・ 会員薬局への支援が難しい
- ・ 薬剤師会を活性化したい

会員薬局 経営者・管理薬剤師

- ・ 改定対応研修は困難
- ・ 加算を取って安定経営をしたい
- ・ 外部研修を探すのも大変



会員薬局の活性化

& 薬剤師会の存在感向上

<開催実績>

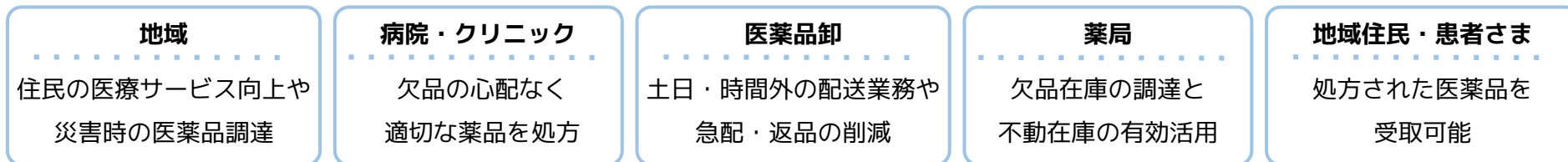
- 全国17の薬剤師会と共催
- 2,476人の薬剤師が参加
(2024年10月10日時点)

2024年度調剤報酬改定対応研修：
オンライン服薬指導、サイバーセキュリティ、災害時対策と対応 等

■ 調剤実績共有システム「LINCLEちいき版」

自社開発の在庫管理システム「LINCLE」のテクノロジーを活用した調剤実績共有サービス

<本サービス導入の効果>



➡ 医薬品融通の仕組みの提供により地域医療に貢献



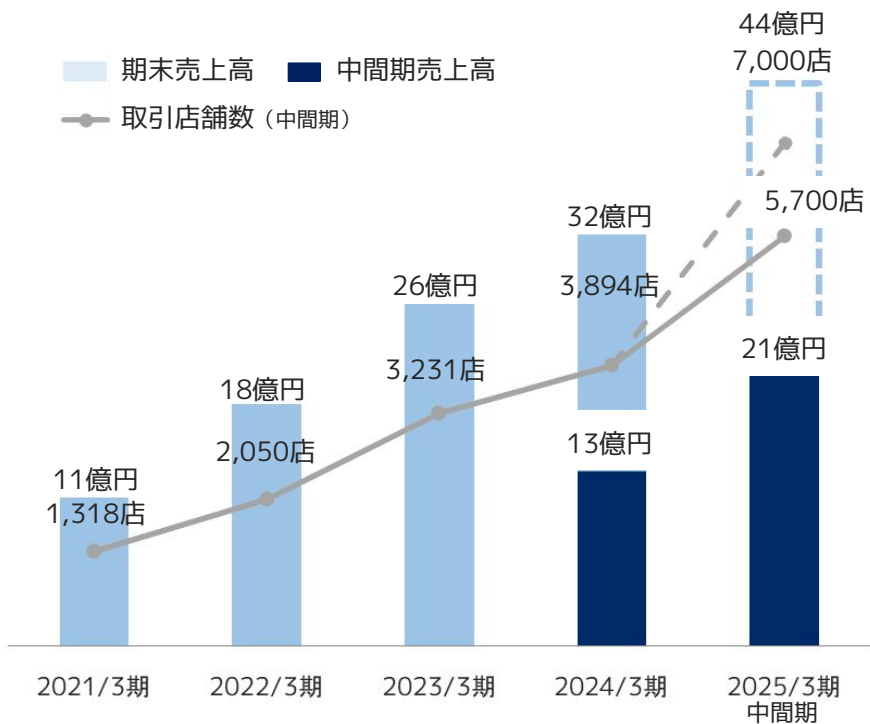
- 販路を順調に拡大し、取引先が大幅に増加

取引先前年同期比 **+1,806店**

注）9月30日時点の出荷調整品目数は3成分6品目（2024年3月期末：3成分6品目）



■ 売上高・取引店舗数



※ 取引店舗数：毎年4月以降に取引のあった店舗数

■ 今期発売品

発売時期	製品名	成分・品目
2024年4月～2024年9月		5成分10品目
2024年12月	タフルプロスト点眼液 0.0015%「日点」	3成分4品目
	ビルダグリプチン錠 50mg「フェルゼン」	
	リバーロキサバンOD錠 10mg/15mg「TCK」	



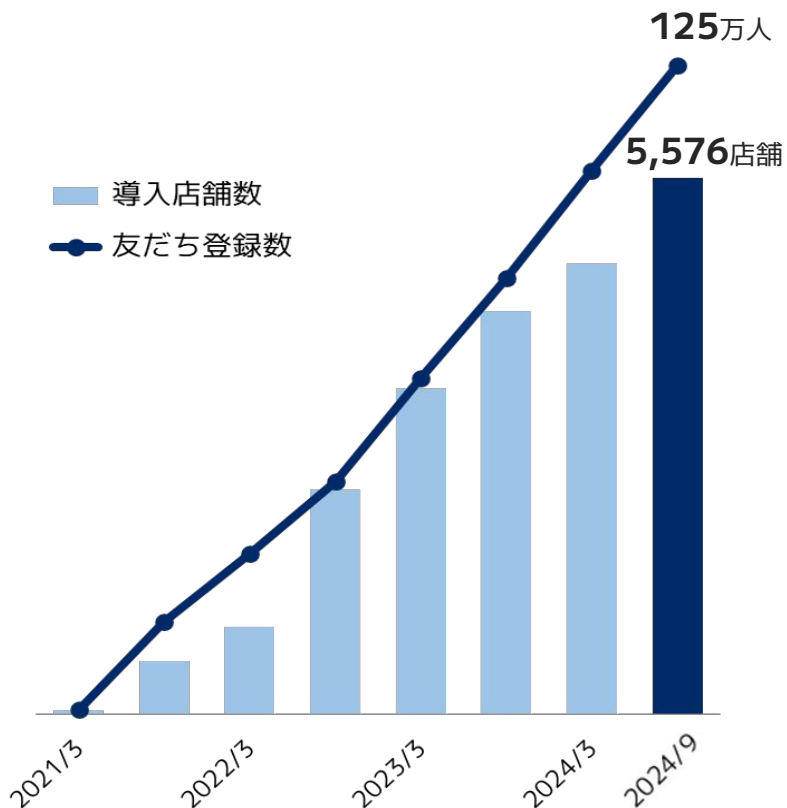
Pharmashift

LINE公式アカウント

つながる薬局

- 友だち登録は125万人、導入店舗数は5,576店舗に大幅増加
- オンライン服薬指導やお薬手帳、在宅サポート等の改定対応機能が好評、受注好調

■ 友だち登録・導入店舗数



■ 電子お薬手帳がマイナポータルと連携

- お薬情報を電子お薬手帳に取込み可能に
(厚生労働省の[ガイドラインに適合](#))

■ 「問診票」の活用で友だち登録が増加

- 来局時の問診票の内容を、薬局ごとに自由にカスタマイズ可能に
- 紙の問診票の代わりにLINEで送信
- 患者にも好評で友だち登録のきっかけとなり、利用者数が増加

■ 電子薬歴とのデータ連携開始

- つながる薬局のチャットデータを電子薬歴に取込み
- 一部メーカーの電子薬歴にてサービス開始



売上高

1,729 百万円 (前年同期比 +2.5%)

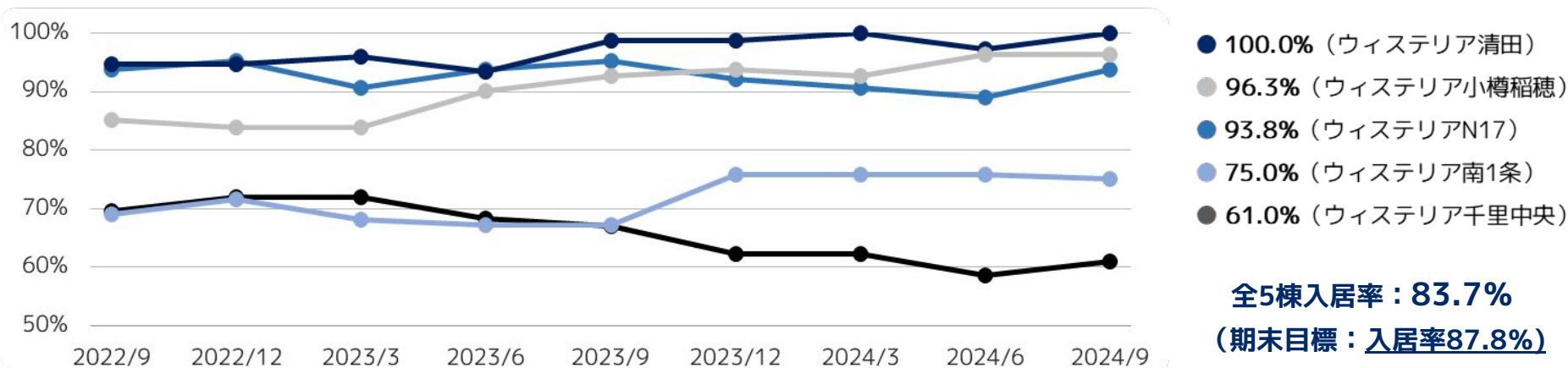
営業利益

99 百万円 (前年同期比 +42.5%)

- 建築業務における受注案件の増加
- 適切なコストコントロールにより効果的な広告宣伝を実施



ウィステリア入居率の推移



TOPICS

2024年10月1日付 ウィステリア千里中央を譲渡[※]

※ 2025年3月期第3四半期連結決算において、特別利益（固定資産売却益）326百万円を計上する見込み
 なお、2024年10月31日公表の2025年3月期通期連結業績予想に織り込み済み



3

2025年3月期
業績予想
・
中間配当

2025年3月期 業績予想を修正 – 連結業績

当中間期までの実績を勘案し、2025年3月期通期業績予想を下方修正

(単位：百万円)	2024/3期 実績	2025/3期 当初予想	2025/3期 修正予想	増減額 (修正予想－当初予想)	増減率
売上高	115,361	122,000	122,000	0	0.0%
EBITDA 利益率	6,997 6.1%	7,450 6.1%	6,440 5.3%	▲ 1,010 ▲0.8pt	▲ 13.6%
営業利益 利益率	3,832 3.3%	4,000 3.3%	3,000 2.5%	▲ 1,000 ▲0.8pt	▲ 25.0%
経常利益 利益率	3,825 3.3%	3,950 3.2%	3,000 2.5%	▲ 950 ▲0.8pt	▲ 24.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	1,860 1.6%	2,000 1.6%	1,250 1.0%	▲ 750 ▲0.6pt	▲ 37.5%
1株当たり当期純利益 (円)	61.89	68.43	42.77	▲ 25.66	—

2025年3月期 業績予想を修正 – セグメント別業績

■ 売上高

	2024/3期 実績	2025/3期 当初予想	2025/3期 修正予想	増減額 (修正予想-当初予想)	増減率
売上高 (単位：百万円)	115,361	122,000	122,000	0	0.0%
地域薬局 ネットワーク事業 ※	109,904	116,819	116,352	▲ 466	▲ 0.4%
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	6,285	6,255	6,195	▲ 60	▲ 1.0%
調整額	▲ 828	▲ 1,075	▲ 548	+ 526	—

■ 営業利益

(単位：百万円)
カッコ内は利益率

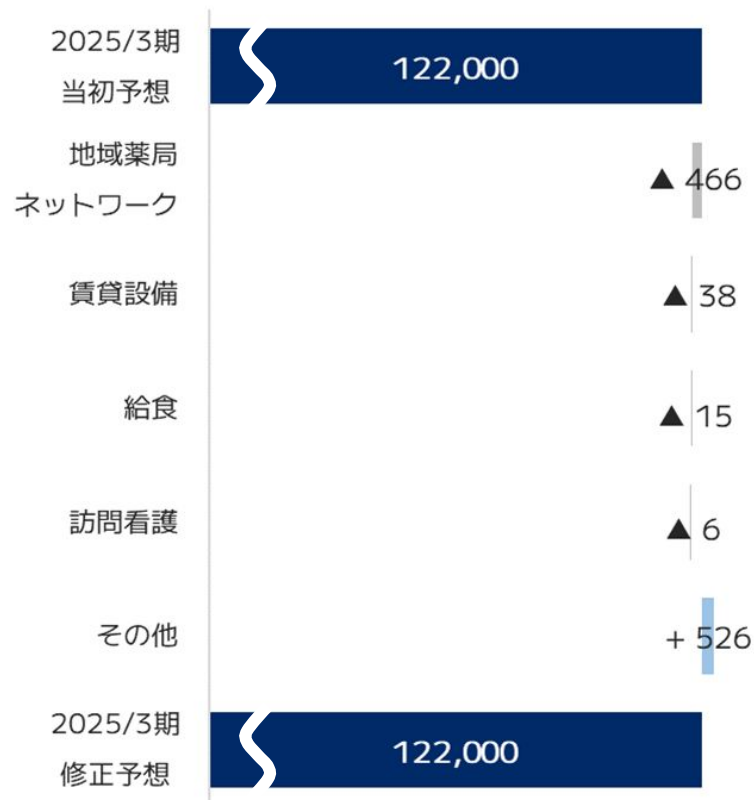
セグメント利益	3,832 (3.3%)	4,000 (3.3%)	3,000 (2.5%)	▲ 1,000 ▲0.8pt	▲ 25.0%
地域薬局 ネットワーク事業 ※	6,433 (5.9%)	6,435 (5.5%)	5,531 (4.6%)	▲ 904 ▲0.8pt	▲ 14.0%
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	70 (1.1%)	228 (3.7%)	200 (3.2%)	▲ 28 ▲0.4pt	▲ 12.4%
調整額	▲ 2,671 (-)	▲ 2,664 (-)	▲ 2,732 (-)	▲ 67 -	—

※ 地域薬局部門、薬局支援事業（医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、医薬品物流部門、デジタルシフト部門）

2025年3月期 業績予想 –修正後セグメント別業績（当初予想比）

■ 売上高

（単位：百万円）



■ 営業利益

（単位：百万円）



※ 処方箋枚数の見込みが不透明な状況であること、仕入れ価格上昇の影響等。
前期に複数の呼吸器感染症が流行した反動もあり、上期は処方箋枚数が減少。下期は処方箋枚数の回復を見込むものの、当初予想からは引き下げ。

	上期		下期		通期	
	2024/3期比	当初予想比	2024/3期比	当初予想比	2024/3期比	当初予想比
既存店処方箋枚数	▲ 0.8%	▲ 2.7%	+ 1.2%	▲ 0.7%	+ 0.2%	▲ 1.7%
既存店処方箋単価	+ 2.3%	+ 3.2%	▲ 0.2%	+ 1.1%	+ 1.0%	+ 2.2%

2025年3月期の配当は、業績予想の修正があったものの
中間配当金・期末配当金それぞれ1株につき6円とし、1株当たり年間配当金は12円を維持

【株主還元指標】

■ 修正前予想

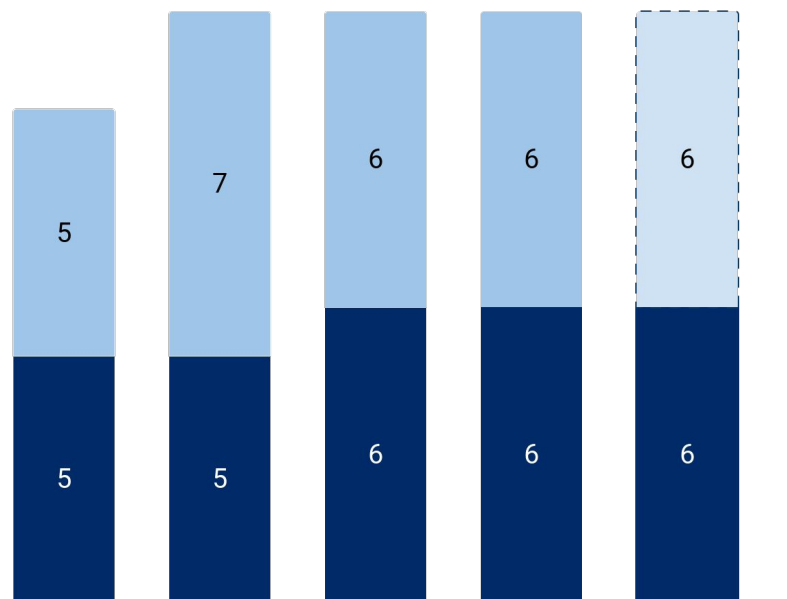
1株当たり年間配当金 12円
配当性向 17.5%



■ 修正後予想

1株当たり年間配当金 12円
配当性向 28.1%

【1株当たり年間配当金推移】



12円

《参考》

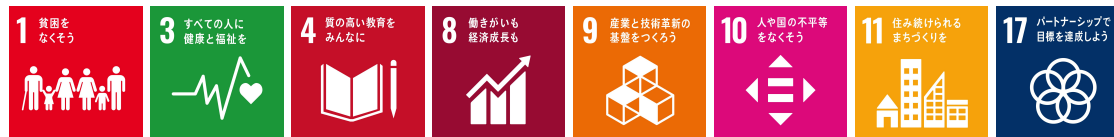
2025年3月期中間配当

基準日：2024年9月30日
支払開始日：2024年12月9日
1株当たり配当額：6円

2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期

■ 期末 ■ 中間

地域住民の健康を支える企業として、スポーツイベントや医療・福祉分野の活動を支援



■ 取り組み事例



「北海道マラソン2024」のボランティア活動に参加

- ・ 2024年8月25日（日）に開催
- ・ 30.2km地点の給水ポイントで活動
- ・ 19,450人がエントリー



なの花薬局カップ 第43回北海道小学生バドミントン大会に協賛

- ・ 2024年9月14日（土）、15日（日）に開催
- ・ 2日間で全道の小学生 596名が参加



なの花薬局 新CM公開中！



こちらから
ご覧ください
(YouTube)



株式会社 メディカルシステムネットワーク

<https://www.msnw.co.jp/>

MSNW

検索

【お問い合わせ先】 経営管理部 TEL : 011-613-7750 / E-mail : info@msnw.co.jp